

患者の皆様へ

2022年1月1日
腫瘍内科

現在、腫瘍内科では、「腫瘍に関するゲノム・遺伝子解析研究を目的とした検体の保存・利活用の体制構築（腫瘍内科）」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では当院にて2021年10月から現在までの間に腫瘍の診療を受けた方の腫瘍に関するゲノム・遺伝子情報、診療情報などを利用して頂きます。これらの検体・情報がこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「腫瘍に関するゲノム・遺伝子解析研究を目的とした検体の保存・利活用の体制構築（腫瘍内科）」

2. 研究の意義・目的

腫瘍に関するゲノム・遺伝子解析研究を目的とした研究であり、今後の腫瘍の診断、治療の開発に貢献することを期待しています。

3. 研究の方法

○対象となる患者さん

当院腫瘍内科にて2021年10月から現在までの間に腫瘍の診断を受け、本研究計画に同意をいただいた方。または当時未成年で、代諾者による同意をいただいた方。

○利用する検体・情報

・保存されている腫瘍検体、血液検体およびそれらから抽出したゲノム DNA、RNA、タンパクなど

- ・既に解析したゲノム・遺伝子に関する情報
- ・被験者背景：年齢、性別、現病歴、主訴、全身状態
- ・腫瘍の状態：原発部位、臨床病期、病理病期
- ・治療法：手術、放射線治療、化学療法など
- ・治療効果：腫瘍の消失や残存など
- ・生存状況：最終生存確認日または死亡日、確認結果等

5. 外部への検体・情報の提供

今後の研究計画（当院の生命倫理審査委員会の審議による承認されることが条件）によっては検体・情報が海外を含めた外部施設に提供される可能性があります。

6. 研究組織

研究責任者：腫瘍内科 滝口裕一

7. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院臨床腫瘍学講座研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。

8. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院腫瘍内科

医師 滝口 裕一

043（222）7171 内線 7967